

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

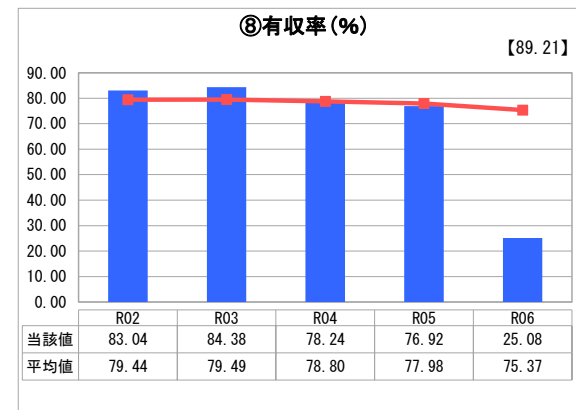
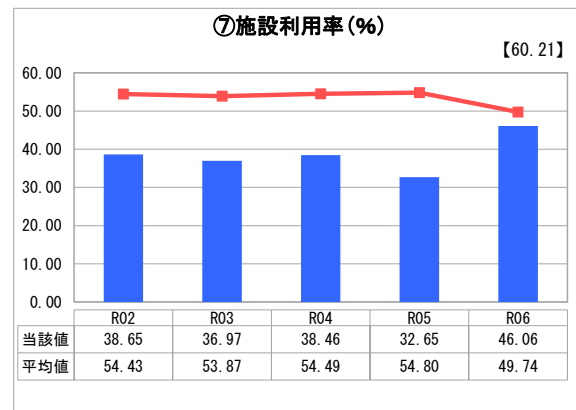
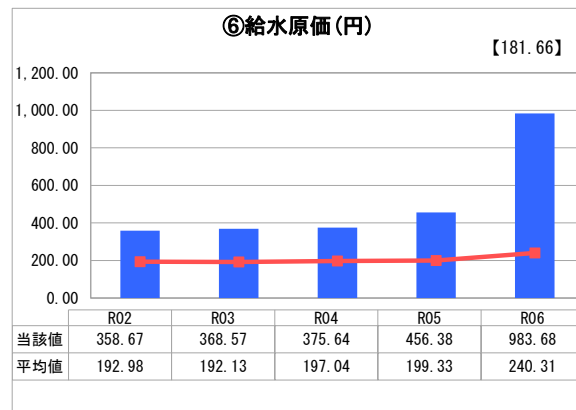
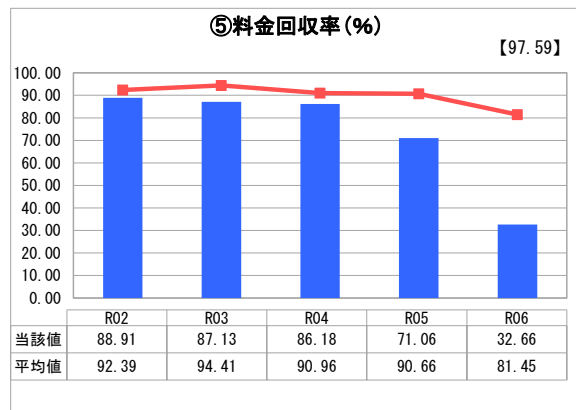
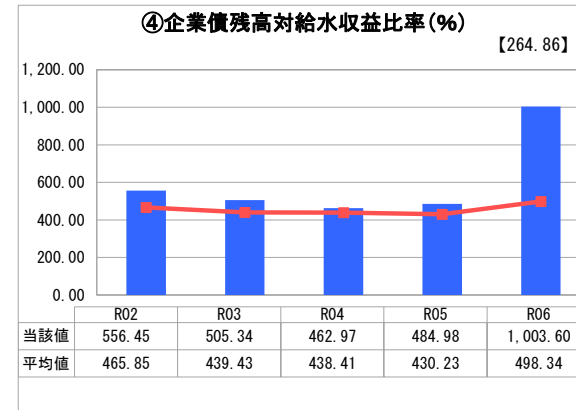
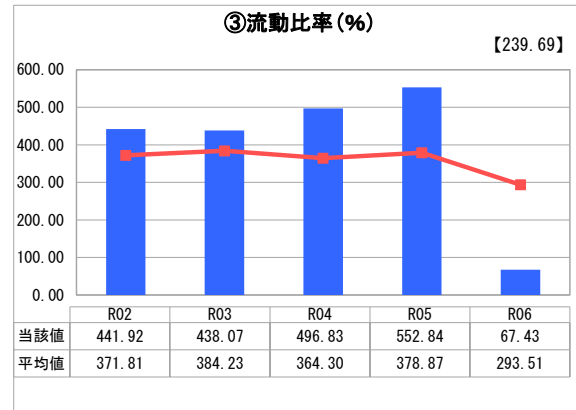
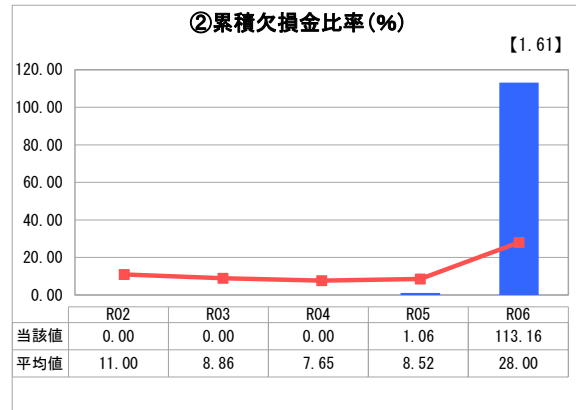
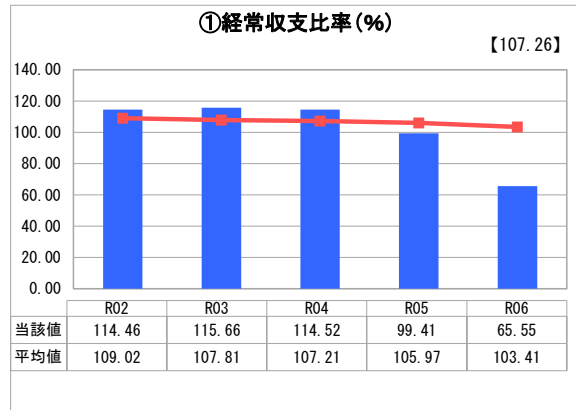
石川県 珠洲市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A8	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)	
-	73.94	86.32	5,423	

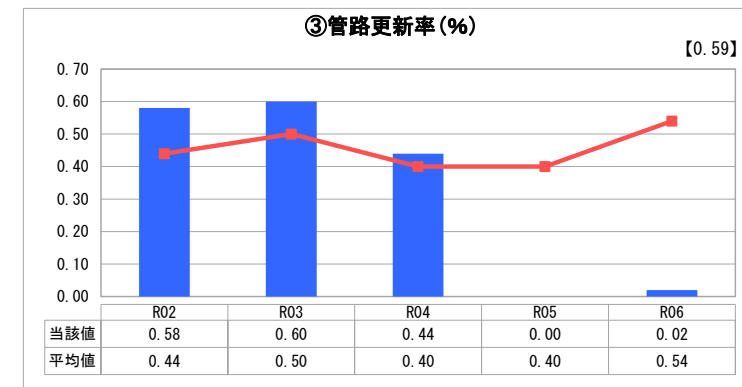
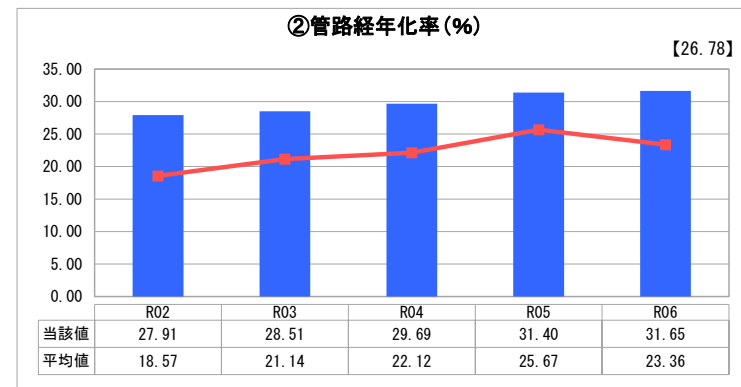
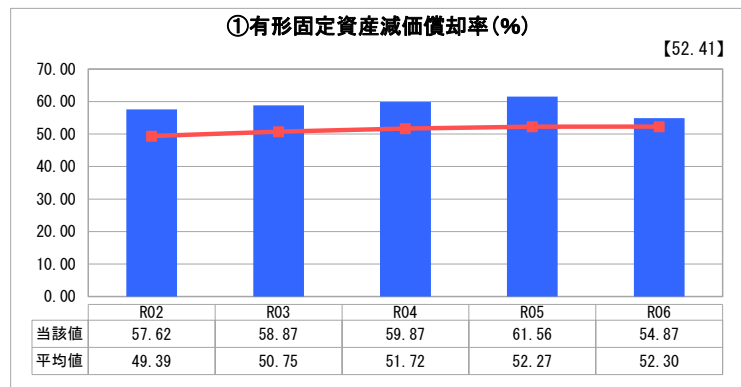
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
11,374	247.20	46.01
現在給水人口(人)	給水区域面積(km <sup>2</sup> )	給水人口密度(人/km <sup>2</sup> )
9,565	70.92	134.87

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
【	令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

① 経常収支比率は、震災による給水人口や有収水量の減少、水道料金の減免により100%を下回り、② 累積欠損金が発生していることから、経営状況は悪化している。  
 ③ 流動比率は、100%を下回っているが、一般会計からの繰入金や国庫補助金を見込んでいることから、短期的な経営の健全性は保たれている。  
 ④ 企業債残高対給水収益比率は類似団体の平均値より高い値が続いているため、今後も給水収益の減少が見込まれる中、企業債残高を減らしていくことが必要である。  
 ⑤ 料金回収率は、100%を下回っており、給水収益だけで給水に係る費用を賄っていない状況にあり、不足額を一般会計からの補助金で賄っている状況にある。  
 ⑥ 給水原価は、震災による漏水や有収水量の減少により増加傾向にあり、類似団体の平均を上回っているため、維持管理費の削減等の経費改善が必要である。  
 ⑦ 施設利用率は、震災による漏水の影響で配水量が増加したものであり、類似団体の平均より低い値が続いていることから、施設のあり方の見直しが必要である。  
 ⑧ 有収率は、震災による漏水のため、例年より大きく低下している。今後は、災害復旧と併せて老朽管の更新を進め、引き続き有収率の向上に努める。

### 2. 老朽化の状況について

① 有形固定資産減価償却率及び② 管路経年化率は、類似団体の平均値より高い値が続いており、法定耐用年数に近い資産や経過した管路を多く保有している状況にある。  
 また、③ 管路更新率の減少は、震災の影響により計画的な更新工事ができていないことによる。  
 今後は、災害復旧と併せて老朽管を順次更新していく予定である。

## 全体総括

経営の健全性を示す指標は、震災の影響により、大きく悪化している状況である。  
 今後、給水収益の回復や漏水の解消による給水原価の抑制が期待できるが、給水人口の減少や災害復旧にかかる工事費が経営の健全性に大きく影響するものと考えられることから、経営の健全化と災害復旧を計画的に進める必要がある。  
 老朽化の状況を示す指標は、類似団体の平均値より高い値にあり、また、震災により計画的な更新ができなかったことから、老朽化した施設や管路を多く抱えている状況にある。今後、災害復旧と併せて、施設の改良や管路の更新を順次進めていく予定である。